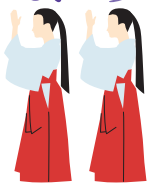




三間社流造の海神社本殿。内部では独立した2棟の建物が並び、これらを覆う屋根が架けられている。宇陀市室生大野で

やまとの 神さま



海神社

(宇陀市)

(住所) 宇陀市室生大野1655
(主祭神) 豊玉姫命
(交通) 近鉄室生口大野駅から徒歩
約5分

(文化財) 本殿が県指定文化財
(拝観) 境内自由
(駐車場) 無し
(電話) 無し



海神社は、同じ宇陀市室生地区の室生龍穴神社から祈雨の神、農耕の神の龍神を勧請したとの伝承があります。主祭神は海の神、水の神とされる豊玉姫命。沿革は不詳ですが、明治の神仏分離で善女龍王社から海神社と改称されました。本殿は、江戸時代前期

に造られ、檜皮葺。一見すると、切妻屋根を持ち、正

面の柱が4本で、間口が三つある「三間社流造」(一間は約1・8倍)に見えます。しかし、よく見ると、平面的には独立した2棟の建物が並列しています。それぞれが春日大社(奈良市)に代表される

の「一間社春日造」であり、これらを覆う流造の屋根を架けているのです。2棟それぞれの上に三角形の千鳥破風を設けており、建物と屋根の間は吹き抜けです。このような構造は全国的に珍しく、県指定文化財となっています。境内に能舞台にもなる

舞殿が残され、能面八つは奈良国立博物館が保管中。本殿、拜殿、舞殿、祓殿、恵比須神社などには鎌倉時代を含め、多くの狛犬が奉納され、地域に大切にされています。近くの深谷龍鎮溪谷にある境外社の龍鎮神社は近年、「空気が違い、神聖さを感じるパワースポット」として人気となっています。

県文化財の「三間社流造」

(奈良まほろばソムリエの会員 石川雅司)